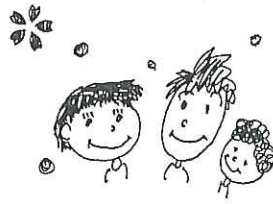


よりそう



天気よく曇り 高21℃ 湿度15%
降水確率10% 40%

バジル栽培, 急がれる

(ハーブの一種)



バジル (ハーブの一種) の苗が2000株位育っています。ボランティアの富沢さん



遠野のVC前のバジル畑予定地に肥料を撒くボランティアの人。

のお話では、「急いで植えないと時期失, する」という事です。この部門ではボランティアの人が求められているのですが、いかにせん来られるボランティアの人々が減っている中で、困難な状況にあち入っている。すでに、注文が来ているので栽培・生育はどうしてもやらねばならない状況です。遠野はセンター前に畝ができてあり、^{うね}6/3 肥料をまき、苗を植えられる体制になっており、事務局スタッフ1人とボランティア2人で活動しています。

大植“ハーブの郷”にも植えるのでそうなのですが、こちらは、未だ畝ができていないので、配水パイプ敷設・マルチシート張りが残っていて、植えられる状態になっていません。

局を除いては、本堂に少くもくちで5E。10本の指で数えられるほどです。今後は、どんな活動に存心のか?

7ヶ月ぶりに来て感じる事.

昨年(2013年)10月に来て以来、7ヶ月ぶり12回目の遠野まごころネットにおて来た。

第一に感じたことは、ボランティアの人数の減少である。70人が泊まる男子棟に5人, 6人, 7人, 10人という状態で、5人の日中、さすがにさびしい感じでした。

第二にボランティアができて事少なくなってきた。例えば、私が3日間としたことは①芝生を育てるために、間に生えている草をぬく、②陸前高田太陽仮設商店街の2周年イベント③大植ハーブの郷の草刈り機による草刈り、④大植ハーブの郷にあたり椅子10台を釜石市両隣のふどう園に運ぶ⑤肥料購入・運搬の手をい、であった。第三に専門的技術者、資格のある人が求められている。

となると、今後のボランティアとしての意識改革が求められているように思った。2011年の意識では、合内々々である気がした。2011年当時活動した人々は、事務局

女子棟は3人くらい、状態

※6/4 (水) ボランティアミーティングはPM15:30前後 食堂

※6/4 (水) 活動 15人 ※6/4 (水) 宿泊 4人